【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【公開番号】特開2014-102873(P2014-102873A)
【公開日】平成26年6月5日(2014.6.5)
【年通号数】公開・登録公報2014-029
【出願番号】特願2013-235659(P2013-235659)
【国際特許分類】
Ｇ１１Ｂ　5/00　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　20/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１１Ｂ　5/00　Ｄ
Ｇ１１Ｂ　20/18　５０１Ｃ
Ｇ１１Ｂ　20/18　５７２Ｂ
Ｇ１１Ｂ　20/18　５７２Ｆ
Ｇ１１Ｂ　20/18　５７６Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成26年7月3日(2014.7.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１つのメディア不良を検出および分類するためのシステムであって、少なくとも１つのメディアと通信するコンピューティング・システムを備えており、該コンピューティング・システムが、
前記少なくとも１つのメディアに周期パターンを書き込んで少なくとも１つの波形を生じさせ、
前記少なくとも１つの波形の大きさおよび不良閾値の比較に基づいて、前記少なくとも１つのメディアにおける少なくとも１つの不良を検出し、
前記少なくとも１つの波形における少なくとも２つの高調波成分の大きさを決定し、
前記少なくとも２つの高調波成分の大きさの比率を決定し、
前記少なくとも２つの高調波成分の大きさの比率が前記分類閾値未満となるときに、前記少なくとも１つの不良をサーマル・アスペリティ不良として分類し、
前記少なくとも２つの高調波成分の大きさの比率が前記分類閾値以上となるときに、前記少なくとも１つの不良を剥離不良として分類する
ように構成される、システム。
【請求項２】
前記周期パターンが４Ｔパターンを含む、請求項１記載のシステム。
【請求項３】
請求項１記載のシステムにおいて、前記少なくとも２つの高調波成分が、前記少なくとも１つの波形における１番目の高調波成分および前記少なくとも１つの波形における３番目の高調波成分を含む、システム。
【請求項４】
請求項１記載のシステムにおいて、前記コンピューティング・システムが更に、前記少なくとも１つの波形の大きさが前記不良閾値未満であるときに前記少なくとも１つの不良

を検出するように構成される、システム。
【請求項５】
請求項１記載にシステムにおいて、前記少なくとも２つの高調波成分の大きさの比率が、前記少なくとも１つの波形における３番目の高調波成分の大きさの、前記少なくとも１つの波形における１番目の高調波成分の大きさに対する比率を含む、システム。
【請求項６】
少なくとも１つのメディア不良を検出および分類する方法であって、
周期パターンを少なくとも１つのメディアに書き込んで、少なくとも１つの波形を生じさせるステップと、
前記少なくとも１つの波形の大きさおよび不良閾値の比較に基づいて、前記少なくとも１つのメディアにおける少なくとも１つの不良を検出するステップと、
前記少なくとも１つの波形における少なくとも２つの高調波成分の大きさを決定するステップと、
前記少なくとも２つの高調波成分の大きさの比率を決定するステップと、
前記少なくとも２つの高調波成分の大きさの比率が前記分類閾値未満となるときに、前記少なくとも１つの不良をサーマル・アスペリティ不良として分類するステップと、
前記少なくとも２つの高調波成分の大きさの比率が前記分類閾値以上となるときに、前記少なくとも１つの不良を剥離不良として分類するステップと
を含む、方法。
【請求項７】
前記周期パターンが４Ｔパターンを含む、請求項６記載の方法。
【請求項８】
前記少なくとも２つの高調波成分が前記少なくとも１つの波形における１番目の高調波成分および前記少なくとも１つの波形における３番目の高調波成分を含む、請求項６記載の方法。
【請求項９】
請求項６記載の方法であって、更に、前記少なくとも１つの波形の大きさが前記不良閾値未満となるときに、前記少なくとも１つの不良を検出するステップを含む、方法。
【請求項１０】
少なくとも１つのメディア不良を検出および分類する方法であって、
周期パターンを少なくとも１つのメディアに書き込んで、少なくとも１つの波形を生じさせるステップと、
前記少なくとも１つの波形の大きさおよび不良閾値の比較に基づいて、前記少なくとも１つのメディアにおける少なくとも１つの不良を検出するステップと、
前記少なくとも１つの波形における少なくとも２つの高調波成分の大きさを決定するステップであって、前記少なくとも２つの高調波成分が前記少なくとも１つの波形における１番目の高調波成分および前記少なくとも１つの波形における３番目の高調波成分を含むステップと、
前記少なくとも２つの高調波成分の大きさの比率を決定するステップであって、前記少なくとも２つの高調波の大きさの比率が、前記３番目の高調波成分の大きさの、前記１番目の高調波成分の大きさに対する比率を含むステップと、
前記２つの高調波成分の大きさ比率が前記分類閾値未満となるときに、前記少なくとも１つの不良をサーマル・アスペリティ不良として分類するステップと、
前記少なくとも２つの高調波成分の大きさの比率が前記分類閾値以上となるときに、前記少なくとも１つの不良を剥離不良として分類するステップと
を含む、方法。
【請求項１１】
前記周期パターンが４Ｔパターンを含む、請求項１０記載の方法。
【請求項１２】
請求項１０記載の方法であって、更に、前記少なくとも１つの波形の大きさが前記不良

閾値未満となるときに、前記少なくとも１つの不良を検出するステップを含む、方法。